

# PART 5

## 自由英作文 Tips



近年、とみに出題が増加している自由英作文。そして、その「書き方」に関して「パラグラフの構成をしっかりと」とか「ディスコースマーカ―を上手に使って」などとよく言われます。もちろん、上手な英文を書く上で、そうしたことが必要なのは確かなのですが、それは文法的にミスのない文がある程度しっかり書けるようになった人が考えること。

ここでは、それ以前の話、つまり「そもそも何をどう書いたらいいのかわからない」「どうやって勉強したらいいのかわからない」という入門の入門レベルの話を、具体例を織り交ぜながらお話しします。

- 1 〈学習方針〉 まずは「減点されない英語」を目指す。
- 2 〈日頃の練習〉 模範解答から学ぶ。下調べも忘れずに。
- 3 〈試験当日〉 書く内容をどう決めるのか？

## 1 〈学習方針〉まずは「減点されない英語」を目指そう

### (1) まずは「減点されない英語」を

「自由英作文」の問題を見たときに、日本語の小論文と同じように「何を書こうか?」と考える人はいませんか? 自分の思いついた内容を何でもそのまま英語で表現できるような人は別にして(もっとも、そういう人はほとんどいませんが)皆さんの英語の語彙力・表現力には限度があるわけですから、**どんなに立派な、あるいはユニークな内容を思いついてもそれが英語で書けなければ(あるいは苦労して書いても間違いだらけなら)意味がありません。自分が英語で書けないことは極力書かないで済むような内容を考える、という逆算的な発想も必要です。**

自由英作文はあくまで「英語の試験」ですから(内容点が加味される場合もありますが)、**まず最初に目指すのは「文法的に減点されない英語」が書けるようになることです。**また、普通に書ける英文を、わざわざ難しい単語や熟語を使って書いている答案を見かけますが、そういうことをしても(少なくとも大学受験では)点数は1点も増えません。むしろ、そんな不慣れな英語を使うことはばかりに気をとられて、三単現のsを落としたり、単語の綴りを間違えば、まず間違いなく減点されるでしょう。

よく、やけに難しい形容詞や動詞を使って書いた生徒に「こんな難しい単語を使わなくても、もっと簡単なこういう単語があるでしょ?」と指摘すると、「その単語はその数行上で1回使っているんで、同じ単語は繰り返さないで言い換えた方がいいと思って...」と反論されますが、英文を書いて生計を立てているような英語のプロは別にして、所詮大学入試のライティングで同じ単語を複数回使うこと自体はまったく問題ないはずです。(むしろ普段使い慣れていない単語を書いて、綴りや語法を間違える方がもっとリスクが高いと思います)

「上手な英語」を目指す前にまずはその前の段階として「減点されない英語」を書けるようになることを当面の目標としてはいかがでしょうか?

### (2) 自分の間違いのクセを知る

では、「減点されない英語」が書けるようになるためにはどうしたらよいでしょうか? それは、(減点の対象となるような) **自分が文法上犯しやすいミスを知る**、ということです。「現在完了が正しく使えない人」「受け身の形が正しく書けない人」「三単現のsを落としやすい人」...。つまり、英語を書いていて自分が頻繁に犯すミス(添削などを通して)知ることです。

そして自分の弱点がわかった上で、**英文を書いたあと、その部分の点検をすることを習慣化する**のです。たとえば三単現のsを落としがちな人は、英文を書き終えたら、(内容を考えずに)三単現のsがきちんとついているかだけを答案を横断的に見て確認するのです。そうすることでミスがたとえ1つでも2つでも発見できれば、その分だけ減点を減らすことができるわけですから。